

—関連施設だより—

職域病院から地域に根ざした病院を目指して

阿川千一郎

公益社団法人東京都教職員互助会 三楽病院

Contending for the regional hospital from membership hospital

Senichiro Agawa

Public Interest Incorporated Association, Sanraku Hospital

三楽病院はお茶の水にありまして、神田川の対岸には東京医科歯科大学、順天堂大学の附属病院があり、さらに隣接する文京区本郷には東京大学、千駄木には貴院・日本医科大学付属病院、加えてお茶の水側に日本大学病院と日本を代表する大きな大学付属病院に囲まれた270床の中規模総合病院です。

昭和8年に教職員の互助会費、東京府市の補助金、宮内省からの御下賜金を基に千代田区神田駿河台に設立され、今年で開院86年を迎えました。三楽病院の名前は、当時の東京市長永田秀次郎氏が孟子の君子有三楽の句から教育者の心を汲み、さらに病院の使命に鑑みて命名されたものと謂われています。ちなみに句は以下のごとくです。

父母俱存兄弟無故一楽也。（父母俱に存し、兄弟ゆえなきは一楽なり）

仰不愧於天俯不忤於人二楽也。（仰いで天に愧ず、俯して人にながらざるは二楽なり）

得天下英才而教育之三楽也。（天下の英才を得てこれを教育するは三楽なり）

昭和63年までは教職員の職域病院でありましたが、本館建て替えに伴い保健医療機関の指定を受け一般に開放されました。許可病床数の270床のうち一般病床は243床、精神病床が27床です。診療科目は消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科の17科で、すべての科に常勤医を配し診療しています。二次救急医療機関、労災指定病院にも認定されており救急医療も担っています。当院は情報セキュリティマネジメントシ



システムの国際規格 ISO27001 を医療機関としては日本で初めて取得し個人情報保護に力を入れている病院として評価されています。診療の特色としては、一般整形外科とは別に脊椎脊髄センターを設け高齢者に多い脊椎管狭窄症などの脊椎手術を年間 360 件手がけております。また内視鏡センターとして 8,000 件の内視鏡検査を行い早期の食道癌、胃癌、大腸癌に 110 件の ESD 治療を行っております。患者数が増えている生活習慣病、中でも糖尿病の治療を専門に手がける生活習慣病クリニックを併設し、オーダーメイド治療が実践できる環境を整えています。さらに特徴として一般病院の中に精神科病棟を有していることです。ストレスが多いとされる教職員のうつ病の治療やメンタルヘルスケアにも力を注いでいます。消化器外科、婦人科では低侵襲の鏡視下手術も積極的に行っております。当院はかつて助産師を養成する三楽病院附属助産師学院を開設していた経緯もあり、産科では助産師を多く配置し充実した体制をとっており年間約 300 件のお産を扱っています。日本人の平均寿命が年々伸び、加えて団塊の世代の高齢化に伴い老年の患者さんがますます増えてきます。高齢の患者さんが少しでもゆったりと治療、看護が受けられるように本年 3 月から病棟再編として 31 床の地域包括ケア病棟を開設し、さらに 9 月からは 60 床まで拡張予定です。今後は医療機関同士の緊密な医療連携がますます求められており、距離的に近い貴院とは是非とも連携を強めさせて頂きたいと考えておりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。最後に宣伝になりますが病院内にあった手狭な人間ドックを近隣のビルに移設してより快適で充実した健診ができるようにしました。三楽病院共々ご利用頂ければ幸いです。

(受付：2016 年 8 月 29 日)